

山梨県歯科医師連盟 今回は 2 ページです。

連盟ニュース 第 86 号

□ 発 行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1

TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854

□ 発行人 : 篠原 昭夫 HP : <http://ydpf.jp>

□ 編集人 : 篠原 昭夫・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

日本歯科医師連盟 第 154 回評議員会

平素より連盟の会務運営に格別のご協力を賜り熱くお礼申し上げます。

日本歯科医師連盟第 154 回評議員会が令和 7 年 6 月 26 日(木) 13 時より東京都歯科医師会館にて開催されました。本評議員会は、太田執行部における最後の会議となり、太田会長より、この 2 年間の執行対してのご協力、ご支援に感謝のご挨拶がありました。

【議事】

第 1 号議案 令和 7 年度運営基金積立会計収支予算(修正)

第 2 号議案 令和 6 年度一般会計収支決算

第 3 号議案 令和 6 年度選挙関係管理会計収支決算

第 4 号議案 令和 6 年度役員退職金積立金会計収支決算

第 5 号議案 令和 6 年度運営基金積立会計収支決算

以上の議案が審議され、議案通り可決されました。

さて、7 月 3 日公示 7 月 20 日投開票日となる第 27 回参議院議員通常選挙が決定されました。本連盟では、山梨選挙区においては「森屋宏候補」、比例代表に日本歯科医師連盟組織代表である「比嘉奈津美候補」を推薦決定しております。

どうか会員各位におかれましては、大切な一票を行使して頂き、両候補の当選を勝ち取りたく宜しくお願い申し上げます。

注 7 月 20 日(日)当日都合が悪く投票に行くことができない皆様におかれましては、期日前投票(不在者投票)をご活用下さい。

期日前投票(不在者投票) : 7 月 4 日(金)～7 月 19 日(土)

[記 篠原]

山梨県歯科医師連盟 第2期篠原執行部発足

役職	氏名	所属支部名
会長	篠原 昭夫	甲府
副会長	原 俊	甲府
副会長	小池 和人	甲府
理事長	臼井 士高	甲府
副理事長(会計)	若尾 孝一	甲府
理事(庶務)	望月 伸恭	中巨摩
理事(広報)	馬場 康二	笛吹
理事	舟久保 亨	南都留
理事	瀬沼 祥子	北都留
理事	窪田 るみ	北巨摩
理事	高木 智幸	東山梨
監事	大森 淨二	甲府
監事	諸角 三千夫	笛吹
相談役	内藤 敏雄	甲府
相談役	一瀬 明	中巨摩

【任期 : 令和 7 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日】

比嘉 奈津美(ひが なつみ)活動報告(抜粋)**◇ 豊かな歯科界実現!! ◇**

現在、私たちの歯科界には多くの課題が怒在しています。日本の現状は、政府が進める給与アップ政策、円安・原材料高騰を背景に、物価高による医院経営が圧迫しています。初再診料ひとつとっても医科歯科格差があり、診療報酬の正当な評価が得られていないのが現状です。私は、これまでの臨床経験から、診療行為の評価は現在の医療費 3 兆 3 千億円から 1.5 倍の 5 兆円程度に引き上げたいと考えております。歯科医院の経営安定や正当な評価の誇りの持てる診療環境の整備には診療報酬アップ、そして予算の獲得が欠かせません。そのためにも、国会議員としての職務を続ける必要があると考えております。

現在、私が事務局長を務めます「国民歯科問題議員連盟」では、自民党最高顧問の麻生太郎先生を名誉会長に、また元厚生労働大臣の田村憲久先生が会長に就任されました。このお二人のご就任は、今後の歯科界にとって大きな力となることを確信しております。

自民党の部会などでも多くの議員等の協力を得て発言をすることで、予算獲得や法改正など、国を動かすことも心得ております。

そして、関係省庁との懇談の機会などを通じ、歯科界の様々な現湯の問題などの意見交渉をするなど日々奮闘をしております。

大学卒業後、沖縄の久米島で歯科医師の第一歩を踏み出し、なつみ歯科医院の院長として 24 年間、日々患者さんと向き合って参りました。離島診療やカンボジアでの単独歯科ボランティアなど、身を持って経験をしてきたからこそ、全国津々浦々の診療所が抱えるご苦労などが理解できると自負しております。

歯科医師である私だからできること、歯科界の現状と向き合い、様々な課題に対し、日本歯科医師連盟、日本歯科医師会と連携をしながら、政府や関係省庁と交渉し、歯科界の声をしっかりと届け、「豊かな歯科界実現!!」のため、全力を尽くして参ります。

◇ 比嘉 奈津美 (ひが なつみ) 国会活動 ◇**2021 年『繰り上げ当選』**

参議院比例代表として繰り上げ当選し、国政に復帰しました。歯科界と政界の架け橋としての努力し、日本歯科医師連盟も連携し支援を継続し、初診を忘れず国会で歯科医療政策に尽力する決意を述べました。

2022 年『予算委員会』

予算委員会で骨太の方針にも記載された国民皆歯科健診、歯科材料高騰による財政支援、口腔内の重要性、視察に行った障がい児への歯科治療、地球温暖化等について質問しました。岸田総理、加藤厚生労働大臣、西村環境大臣、岡田沖縄担当大臣からそれぞれ前向きな心強い言葉をいただきました。

2023 年『決算委員会』

2023 年 5 月と 6 月の参議院決算委員会で、国民皆歯科健診の推進、物価高、医療 DX、妊婦健診、子ども虐待への歯科的対応、診療報酬引き上げ、歯科衛生士の復職支援などを質問。岸田総理らに歯科医療の現状を訴えました。

2024 年『厚生労働委員会』

2023 年 11 月 9 日、参議院厚生労働委員長に就任し、委員会運営に公正かつ円満に努める決意を述べた。2024 年 4 月 4 日から本格審議が始まり、医療・年金・労働など国民生活に関わる課題に全力で取り組む姿勢を示した。

2025 年『代表質問』

2025 年 1 月 29 日、代表質問に登壇。物価高騰や賃金停滞への対策が不十分であると政府を追及し、実効性ある経済政策を求めた。あわせて歯科医療の充実と健康寿命の延伸に向けた支援強化を提案し、国民の健康と暮らしを守る政策の必要性を訴えた。